

可茂地区家庭教育学級応援通信

可茂県事務所 振興防災課
家庭教育推進専門職 安田 早由里
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
令和5年度 7月号

いいかも



空に輝く星たちに願いを託します。子ども達や家族の皆さんが、毎日、健やかに過ごせますように！

可茂地区トレジャーワード

家庭教育楽しさ再発見！～関わろう・学び合おう・高めよう～



美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町

学校では、この夏、4年ぶりのプールが始まったようです。(地域によって多少違いがあるかもしれませんが。)子ども達は、大喜びで友達と一緒に水の感触を楽しんでいることでしょう。体を鍛え泳力を伸ばすことに加え、水の中での身の処し方を学ぶという安全面からも、水泳指導は大切なものです。水しぶき、歓声、笑顔いっぱいの子どもの姿を想像するにつけ、少しずつ日常を取り戻していくことに喜びと安堵を覚えます。場の準備と管理、生命を見届けながら指導をされる先生方の配慮に思いをいたし、皆が、この夏を元気に乗り切っていくことを願わずにはられません。

家庭教育学級も各団体・園・学校で無事開級式が終わり、いたるところで学びが始まりました。仲間と関わり、共に学び合うことの楽しさを、是非、今年度、多くの皆さんに再発見していただけたらと思います。そして、その楽しさが家庭の教育力を高める一助となることを願っています。

家庭教育（学級）いろいろ

～なるほど～！

<家庭教育学級の歴史>

昭和39年、時の文部省が家庭教育学級開設奨励策として、家庭教育学級開設に伴う経費の一部を補助する支援を始めました。岐阜県においてはこれを受け、同年より家庭教育学級の開設が進められました。このように始まった家庭教育学級の取組が、時の流れとともに少しずつ形をかえながら、現在に引き継がれています。



<家庭教育学級の目的>



保護者が、子どもを育てる上で大切なことやその年齢における子どもの特性等を知り、子どもが心身ともに健やかに成長できるようにするには、家庭教育を学ぶ場が必要です。

家庭教育学級は、「子育て」や「しつけ」について学んだり、悩みを話し合ったりする場。家庭教育の在り方を学び、自らを振り返る場。活動を通して親同士のつながりをつくる場です。保護者自身が計画し実施します。(学校や市町村も精一杯サポートします。)

<家庭教育学級 訪問・取材より>

6月は、一つの園と二つの学校を訪問させていただきました。どの学級も活気に満ちており、子どもたちの笑顔と活動されるお母さん達の熱意が伝わるものでした。今年一年かけて、様々な学級におじゃまさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

長期休業日を利用し「話そう！語ろう！わが家の約束」運動に取り組む園・学校の皆さん、お手元にパンフレットは届きましたか？ご活用ください！

読んでね



体験活動参加型

No.1

加茂郡東白川村立 みつば保育園 家庭教育学級

「5万個で遊ぶ積木ワークショップ」

子ども時代の感動は一生の宝物です。親子・子ども集団で遊ぶことができる積木ワークショップを体験してみましょう。「たかが転がすだけ」が人間の五感を最大限に広がります。やってみないとこの楽しさは分からない！



講師：全国ほるぷ東海センター 童具館わくわく創造アトリエ講師 豊田 利幸氏

<第1部 (年少組 親子) 7名> 3万個のウッドビーズで遊びます！ 9:00～



家ではできない体験ができ楽しかったです。球体一つでも転がしたり投げたりすることができますが、たくさんあることで、自らも泳いだり乗り物になったりと、無限の遊びが広がった気がします。家でも、親子で、いろいろ楽しめるかなと思いました。(アンケートより)

<第2部 (年中・年長組 親子) 21名> 2万個の積木で「東白川の未来のまち」を作ろう！ 10:00～

たくさんの積木を使って親子で遊ぼう！
「食べない」「投げない」「子から目を離さない」
無我夢中で創ってください

作ろう、
創ろう！



集う楽しさ膨らみます！

子どもと一緒に夢中になりました。積木は、上に積み上げるものという思いがありましたが横にもつながり、未来の地域をイメージするというコンセプトに、胸が熱くなりました。子どもと自分の未来がどんどん広がるものとして捉えることができました。(アンケートより)

毎回参加しています。子どもたちとの交流や親同士が親しくできることに魅力を感じています。移住の方も積極的に参加してくださいませ。土地柄、出かける場所があまりないので、仲間と集えるこういう場(学級)を作ってもらえるのはとてもありがたい。

ひよこクラブ(乳幼児学級)からのつながりでそのまま皆と仲良くさせてもらっています。東白川村は自然が豊かで、子どもをのびのび育てることができます。言葉では表現できないくらい感動しています。

3年ぶりの参集型の学級です。親子で、在宅での取組も楽しかったのですが、講師を招聘し、大勢の親子と触れ合えるのはもっと楽しい。集団の中での自分の子どもの姿を見るのは勉強になります。わが子とゆっくり向き合えるこのような時間は大切です。

講演会型

No. 2

加茂郡川辺町立川辺北小学校 家庭教育学級

開級式「『今、この瞬間』がかけがえのないとき」

親が育たないと子どもを育てることはできません。今、この時を大切に、日々、子どもと向き合ってほしいと願います！



講師：加茂郡川辺町立川辺北小学校 校長 川上 二郎先生

達り水し。今年
との前に。今年
のにぶが。今年
日々できる。今年
をの音。今年
楽し喜。今年
しくび。今年
くを。今年
過る感。今年
ごじ。今年
してつ。今年
てつ。今年
い。今年
ます。今年
す。今年
も。今年



1年生の子ども達の4月はじめの表情と、3カ月経つ今の表情は違う。すごい勢いで成長している。大人（親）もスキルアップしないと子どもに負けてしまう。育児=育自と表現する人もいる。

「今、この瞬間に何をすべきか。」愛情を伝えること『アクセル』・厳しさ（我慢すること）『ブレーキ』を教えること。

愛情を、子どもにわかるように伝える難しさは確かにある。時には、オーバーアクションではめめる、驚く、うなずく等。家庭では、夫婦仲の良い姿を見せる。

キラキラ輝く瞳の子どもたちに力をつけるには、我慢させることが大切！（ご講話より）



「本校の家庭教育学級の入級は1年生の保護者です。そして卒級は6年生の最後です。家庭教育学級は、どこか特定の学年の保護者を対象にしたものではありません。すべての保護者が対象なのです。」

**学ぶ楽しさ
膨らみます！**

今年は、ワークショップや子育てサロンを組み合わせた学級を計画しています。仲間と作業をしたり語り合ったりするのが楽しみです。（インタビューより）

仕事を休んで参加するのは大変な部分もありますが、お話を聴き、「なるほど」「そうだな」と思うことが、気持ちも新たに子どもと向き合うことに結びついています。（インタビューより）

学校行事参加型

No. 3

加茂郡白川町立 白川小学校 家庭教育学級



親の語る会・「キャリア教育」に関わろう

大人（親）が、大勢の前で頑張る姿を見せるのは、子育てにおいて大切なことだと考えています。子ども達の前で、「何を語るか」を考え、伝えるための準備をし、そして、わかりやすく話す一連の取組は、自分自身の躰を振り返る、親にとっても一つの学びの場になります。こんな形の家庭教育学級はいかがですか？

1年生：『消防団の仕事について』

4年生：『キーホルダー作り』



「私は〇〇のお父さんです」「私は、△△のお母さんです。」という自己紹介でスタートし、仕事のこと、趣味のこと、その他子ども達に伝えていきたいこと等準備してきた資料をもとに一生涯懸命話されました。

2年生：『スノードーム作り』

5年生：『計画の立て方』

『将棋』



3年生：『神社と神様について』『ノート作り』

6年生：『設計図』



白川小と白川北小が統合し、現在の白川小になって4年が経ちました。もともとこの活動（学級）は、旧白川小時代に行われていたもので、統合の際、活動の継続の是非についてPTAの中で話し合いました。「親の語る会」の意義を見つめ直し、「これからもできる限り続けていこう」という意見にまとまりました。

学校規模から、子ども達が6年過ごす間にほぼ全員が一度は語る事ができます。親も学び頑張ります！

教える楽しさ膨らみます！